

No.265

2022年
10月号



(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館
〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

展示のご案内

展示期間 10月27日(木)まで

★メイン展示

『秋はカーニバル』

久々の市民祭宿毛まつりは皆さん楽しめましたか。運動会も市内各所で開催され、コロナ対策をしつつも、日常が帰ってきたように思います。

今回の展示は、

- ・ハロウィンをたのしもう
- ・運動会！
- ・踊り！

という3つのコーナーを用意しています。



●メイン展示図書(抜粋)

「まるごとハロウィン」「ねずみくんのうんどうかい」
「運動会おもしろ種目集」「やせるダンス」「フラダン」

★サブ展示

『目チカラ』

目の病気やケアなどの本を集めてみました。館内には高知みらい科学館よりお借りした目の錯覚を楽しむアートも展示しています。

●サブ展示図書(抜粋)

「目のしくみ大研究」「自然のかくし絵」「緑内障」
「どんどん目が良くなるマジカル・アイ」「眼ヨガ」

寄贈いただきました

元関脇豊ノ島である宿毛市名誉市民の井筒親方からサイン本「七転び八起き 豊ノ島自伝」をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

小柄な体格にも関わらず、ライバル達とせめぎ合いの土俵を魅せてくれた元豊ノ島関。18年という長きにわたり生き抜いてきた土俵人生。ご本人の言葉を受け止めてみて下さい。



除菌機を導入しています



除菌機の導入により、除菌とホコリなどの除去が同時に行え、安心して図書を借りることができます。

まだ使ったことのない方も一度試してみませんか。操作は簡単。開いた本をセットし、ボタンを押すだけ。たった30秒で終了です。操作が分からない方はお気軽に窓口までご相談くださいね♪

読書講座のご案内

絵本の世界に触れてみませんか。作者による創作時のお話をご講演いただきます。

講師：絵本作家 ひさまつまゆこさん

日時：令和4年10月22日(土) 13:30～

場所：宿毛文教センター 2階 視聴覚室

読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

首取物語

西條奈加 著
徳間書店

ひとりぼっちの少年トサと身体が無い首だけの侍オビト。記憶が無い二人は、手がかりを求めて諸国を旅することに。

なぜトサはひとりぼっちなのか？
なぜオビトは首だけになったのか？
なぜ二人は出会ったのか？

七つの国をめぐる中で、次第に明らかになっていく哀しくも厳しい事実。全てを思い出した二人がたどり着いた国とは…。

少年と首だけの男が旅をするという奇抜さと二人の失った記憶が気になり、物語にどんどん引き込まれていきます。時代ファンタジー好きにおすすめしたい物語です。

(児童)

ふしぎなメリーゴーラウンド

リーザ＝マリー・ブルーム 作
はたさわゆうこ 訳
徳間書店

まるで、本物のような木ぼりの動物が6体ついたメリーゴーラウンド。じつは、この動物たちは夜になるとエサを食べ、30分だけおしゃべりをするのです。でも、新しい持ち主はエサも、やさしいことばもくれません。そのうち、動物たちにふしぎなことが起きはじめ…。

6体の動物たちと子どもたちの心あたままる物語。

(一般)

気象病ハンドブック

久手堅司 著
誠文堂新光社

気象病という言葉聞いたことはありますか？日々気圧や気温は変わり、その日の気象変化によって引き起こされる心身の不調のことを言います。特徴的な症状として頭痛や倦怠感、そしてめまいなどがあります。

この本では、セルフケアの仕方や、上手く付き合っていく方法など多岐に渡って紹介されています。気になる方はぜひ読んでみてください。

(児童)

科学って何のためにあるの？

DK社 編
東京書籍

「人の見た目の特徴はどうやって決まるの？」「花火はどうして大きな音と光が出るの？」「宇宙はどうやって始まったの？」など。

科学のおかげで、より良い生活を送れている現代を生きる私たちにとっては欠かせないもの。科学は難しいというイメージがありますが、そんな科学の身近で素朴な疑問を丁寧に解説。

※本の紹介文は、スタッフが作成しています。

昔と今と

松澤まり子

先日、歯科医院で治療を受けながら衛生士さんとお話した時のこと、海外旅行の話になり数年前にイタリア旅行に行かれたと聞いて、そういえば秋のローマに行ったことがあるなあと思い出した。また行きたいですね～早く行けるような時代になるといいね、と衛生士さんと話しながら椅子の上で座っているうちに色々思い出してきた。ちらっと入ったカフェの店員さんとの会話。駅で見た恋人たちの親密さ。町行く人々のおしゃれなファッション。焼き栗売り。

何月に行ったのかはもうすっかり忘れてしまったが、ブルゾンを着ていた覚えがあるので秋真っ盛りの頃だったかもしれない。携帯電話もまだ普及していなかった頃でずいぶん昔のような気がする。大阪に住んでいた叔父叔母と一緒にいった。わたしは大阪で一泊し翌日の飛行機で関西国際空港からどこかで乗り継いでいった格安フリーツアーだった。朝食だけがついていて朝ごはんを食べて地下鉄などを乗り継いで町を散策する。やっぱり秋から冬へと向かう季節だった。というのも町には並木道がたくさんあり見たことのない大きな葉が紅葉し石畳の上は落ち葉で埋め尽くされ、落ち葉をばっさばっさ踏み分けながら歩いたことを思い出した。ヨーロッパの石畳の上を枯葉が舞う。学生の頃『舞姫』を読んであこがれていた欧州の石畳。舞台は違えど嬉しかったことを思い出す。ローマは土の香りのする町だった。いやな意味ではなく、自然が至るところにあり、独特の雰囲気があった。ヨーロッパは似ているようで国によって全然違う雰囲気をかもしだして、おもしろい。そしてどんな小さな町でも教会がある。

その叔父叔母によく旅行に連れて行ってもらった。大阪で公務員をしていて連休などの休みには海外旅行をしていた。わたしがイギリスにいた時、彼らがフランスに旅行に来ていたので、イギリスからパリへ行き合流して数日旅行をしたことなどがある。一緒にシャンゼリゼを歩いたりしたことがとても懐かしい。今はもうお二人はいない。きっと一緒に好きだったスイスあたりでのんびり歩いているのかしれない。

最近、会う人が口をそろえて「こんな時代になるなんて」と言う。確かに、といつも思う。だが、こんな時代にならないと、わからないことも多かった。

昔のことだから余計にいい思い出にかわるのかもしれないが、実際は色々思い迷い紆余曲折の道で今まで何とかやってきた。いつも、「今」だからいい、と思ってきた。昔に帰りたいとは思わない。

そしてまた今この時があるからこそ明日があるし、良い明日にしていきたいと思う。今の自分だからこそそう思えるのだ。

先月、仕事でたいへん悩むことがあった。ネガティブな気持ちでうじうじしながら数日過ごしていた。そんなある日、ものすごくいやなことがあった。恥ずかしいので詳しくは書けないが、その時、しみじみと感じたのは、暗い気持ちでずっと考えていると悪いことが起こる、ということだ。まったく何が起こるかかわからないのだが、突然何かが起こってもそれに対処できるのだということもわかった。逆に言えば、対処できないことは自分自身の範囲では起きないのかもしれない。よく云われるように、乗り越えられない壁はない。まあ、それからというもの、できるだけネガティブなことは考えず、良いことを考えよう、考えようとして現在に至る。徐々に悩みは解消され、穏やかな毎日を過ごすことができるようになった。やれやれ、いい年をしてそんなことも知らなかったのか、と笑われそうだが、本当にわたしは昔は愚かで（今もそうだが）数分数秒前は馬鹿なのだ。だからこそ、やはり「今」がいいな、と、こんな時代だけれども思うわけだ。



宿毛の秋

～新着図書のご紹介～

一般図書



- 0 「Scratchであそぶ機械学習」 石原淳也
 0 「調べ物に役立つ図書館のデータベース」 小曾川真貴
 1 『「君しかいない！」と言われる人になる』 今井孝
 2 「田中陽希日記」 田中陽希
 3 「カースト」 イザベル・ウィルカーソン
 3 「図解よくわかる地方議会のしくみ」 武田正孝
 3 「社会保障のトリセツ」 山下慎一
 4 「深海魚コレクション」 篠原現人
 4 「股関節痛の教科書」 齊藤貴志
 4 「スマホ脳の処方箋」 奥村歩
 5 『「酢」のレシピ』 有元葉子
 5 「パンどろぼうのせかいいちおいしいパンレシピ」 吉永麻衣子
 6 「テレビ番組制作会社のリアリティ」 林香里
 7 「最新音楽業界の動向とカラクリがよくわかる本」 山口哲一
 8 「朝日新聞記者の書く力」 真田正明
 9 「乱鴉の空」 あさのあつこ
 9 「ハヤブサ消防団」 池井戸潤
 9 「おいしいごはんが食べられますように」 高瀬隼子
 9 「あの子とQ」 万城目学

※左側の数字は図書の分類を表しています。

0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- 「なんで勉強するんだろう？」 齋藤孝
 「科学って何のためにあるの？」 DK社
 「情報通信のひみつ」 おがたたかはる
 「土の大研究」 藤井一至
 「三まいのはがき」 おくやまゆか
 「こどもに聞かせる一日一話」 福音館書店「母の友」
 「まちのおばけずかん ハイ！」 斉藤洋
 「ラベンダーとソプラノ」 額賀滯
 「生き抜け！」 山口理
 「魔女だったかもしれないわたし」 エル・マクニコル
 「ガリレオの事件簿」 東野圭吾

絵本



- 「カレーライス」 やなせたかし
 「へんしんロボット」 あきやただし
 「ちいさいおねえちゃん」 いうみく
 「パンしろくま」 柴田ケイコ
 「カピバラがやってきた」 アルフレド・ソデルギット
 「たしますよ」 内田麟太郎
 「わんわんハロウィーン」 高林麻里
 「ねずみさんのパンツ」 tuperatupera
 「ニャンタ、海に行く」 和山史穂
 「麦畑のみはりばん」 ベス・フェリー

★このほかにもたくさんの図書が入っております。

図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、
 そちらもぜひご覧ください。

10月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日・祝 10:00～18:00

ホームページ <https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>

メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp

は休館日



【図書館HP】

